



森のなかま

2016年5月号

NO.97 (継続242号)

事務所が移転しました!!

NPO法人かながわ森林インストラクターの会 <http://www.forest-kanagawa.jp>

発行人 久保 重明

〒243-0018 厚木市中町2丁目13番14号・サンシャインビル6階604号 Tel.046-297-0301・Fax046-297-0302



“平成27年度 成長の森 植樹会が開催されました”

参加人数：396名 場所：県立21世紀の森

日：2016年(平成28年)3月12日(土) 天候：曇り

花粉症対策のスギのイメージ

無花粉のスギ

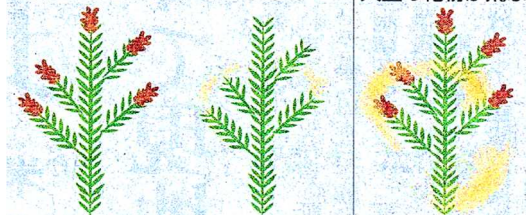
雄花はつけるが、
花粉ができない

少花粉のスギ

雄花がほとんど
つかない

普通のスギ

春になると
大量の花粉が飛ぶ



< 小松 立史 14期 >

恒例となっている成長の森植樹会が平成27年3月12日(土)に開催されました。当日は春とはいえ直近に降った雪が箱根外輪山の中腹まで残り、まだ寒い日でしたが赤ちゃんからご年配の方まで396名ものお客様にご参加いただきました。開催者側は神奈川県水源環境保全課及びかながわトラストみどり財団の方々20名と森林インストラクター40名が対応し、出店もあり賑わいました。

植樹会は、南向き斜面の適地に予め竹が設置されており、550本の無花粉スギが植林されました。無花粉であることを試験で検証済みの苗木だそうです。お子さんが重たそうに唐鍬を使って穴を掘り、苗木を真直ぐに立て、土をかぶせ、養生までができた時のうれしそうな顔が印象的でした。また、日常的に鍬を見たこともない、使ったこともないご家族から、お子さんの一振りごとに応援の歓声が上がっていました。

植樹後に、お子さんが成人されたころ、また将来にどれだけ大きく育つかを説明するとお子さんもご家族も実感がわいて、「是非見に来たい」と言われていました。こうした参加型の森づくりが水源林を守る基本であり、植樹会の重要性を再認識しました。

一方、お客様が子供の成長を願いそれぞれの思いで植樹された貴重な無花粉スギが立派に育つよう、夏の下刈り作業など継続的な育成活動の重要性を痛感した一日でもありました。

植樹場所はここですよ



本年度の植樹場所 全景

我が子の名前はどこかな



インストラクターから 植樹方法説明



穴 掘



よく踏み固めてね

植樹状況最終チェック



休息所



疑似間伐体験(丸太切り)

サウスポーですね
持ち方、足の安定
GOOD!!



来年もよろしくね!



かながわ森林インストラクターの会は『緑の募金』支援団体としても取組んでいます。
全国で5番目/NPO法人で初委嘱されています。



森林文化部会主催

「小田原漆器研ぎ出し体験 と 小田原用水見学」

日時：3月6日(日)、 晴れ 場所：小田原市板橋 大川木工所、小田原上水(早川上水)



< 森林文化部会副会長 小笠原 多加子 10期 >

神奈川の伝統工芸品を2年前より体験学習を行なってきました。箱根の寄木細工に始まり、鎌倉の鎌倉彫、今年は最後の小田原漆器です。

小田原漆器の歴史は古く、およそ500年前の室町時代中期からです。すぐそばに箱根の山々があり材料が豊富で小田原城を造る職人が集まったということと実用的ということで盛んになったそうです。

漆器職人が原木を玉切りして、型取り・木地仕上げ・摺り・研ぎ・磨きなどの一連の作業を一か所で行っています。材料は主にケヤキが多く、自然の木目の美しさを充分生かしたものになっています。

大川木工所の作業場や作品を大川さんの説明で見学したのちいよいよ研ぎ出しの体験です。参加者は各自好みで、パン皿やぐい飲み、平碗の中から1点を選び漆の研ぎ出しです。力の入れ方や研ぎ出すところなどによって黒地を磨くと朱地がいろいろな模様になってできました。自分の作品にうっとりして何にしようかと想像をふくらませていました。

展示作品



大川氏よりの説明



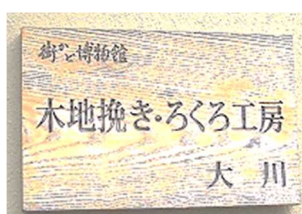
展示作品



加工用旋盤



独自考案の種々の道具



漆の研ぎ出し体験



皆さんの作品群 出来栄は？



小田原用水

午後からは「ぶらタモリ」で脚光を浴びたばかりの小田原用水の見学です。地元板橋生まれの石塚順吉様(小田原もりの仲間)に案内して頂きました。小田原用水を参考にして江戸の町作りや玉川上水ができたと言われています。早川の取水口からいくつにも分かれ板橋の町を通り、早川河口や小田原城内に流れていきました。ふたがなく水の流れも見られました。旧東海道の旧家内野醤油店内も見学でき明治時代の豪商の生活も垣間見ることができました。防火施設の充実には驚きました。早川ではたくさんの水鳥も見られ、五感で小田原の春を満喫できた1日でした。



早川取水口 後ろに見えるのは石垣山一夜城



取水門



左の早川本流側、右の国道側(小田原用水としての本流)に分かれる分水路



洗い物に利用したのでしょうか、段々と作業用の台が残っていました。

参考：小田原 街歩きガイドより



内野邸(元醤油店)
(パンフレットより)



(写真:松本)

参加者：米本②、武者⑦、阿部⑧三浦⑧、水口⑨、内野⑨、大澤⑩、松本⑪、真貝⑪、赤崎⑫、小笠原⑩

『 槐 の 会 』 様 自然観察と森林癒やし体験

(自然観察部会と森林癒やし部会)

コース: 鶴岡八幡宮=海蔵寺=化粧坂=源氏山公園(癒やし体験と自然観察)=鎌倉駅

日時: 2月28日(日) 12時30分~15時30分、快晴

参加者85名

< 松永 廣 11期 >

今回の自然観察と森林癒やし体験のコラボレーションは「槐の会」様として初めての試みでありインストラクター会としても絶対に成功させる気持ちで準備をしました。

午前中は鶴岡八幡宮境内での本格的なお参りと重要文化財などの説明があり、昼食後6班に分かれて海蔵寺へと向かいました。海蔵寺では「スプリング・エフェメラル(春の短い命、という意味)」の代表的なフクジュソウ(福寿草)を観察しました。パラボナアンテナを連想させる黄色い花は虫媒花ですが蜜はありません。花は太陽を向いて、光を集めて輝き花の中心部を温めてアナアブなどを誘います。

また、道路わきの空き地にはオオイヌノフグリ、ヒメオドリコソウ、ヒメウスなどが咲き乱れ春爛漫でした。海蔵寺を後にして源氏山公園に向かう途中では、シホウチク、タネツケバナなどを観察すると化粧坂です。凍結が心配されましたが暖かな気候に恵まれ全員無事に登り切りました。

源氏山公園では森林癒やし体験コースと自然観察コースに分かれて各々の体験をしていただきました。まずハーブティをいただき癒やし体験でストレス解消です。自然観察コースはツバキの花を観察しながら葛原岡神社まで散策をしました。最後に源頼朝公銅像広場にて全員で振り返りを実施して解散しました。

福寿草(フクジュソウ)



四方竹(シホウチク)



鶴岡八幡宮にて お参りと説明



鶴岡八幡宮から海蔵寺へ



源氏山公園にて癒やし体験



源氏山公園にて自然観察



椿(ツバキ)



スタッフ: 鶴岡八幡宮「槐の会」 久田様、佐伯様、大津様、平ノ内様、木村様、近藤様

インストラクター: L 松永⑪、若林⑦、草野⑧、小林⑨、高橋⑨、海野⑩、山下⑪、真貝⑪、福島⑪、

赤崎⑫、小池⑫、小川⑬、松石⑬

(写真提供 松永)

活動短信

今回の掲載は平成28年3/12～4/9です。
寄稿頂いた中には、紙面都合や寄稿タイミングで次号以降の掲載になるものもあります。



無料イラストより



桃始笑 3/10～3/14頃
ももはじめてわらう
桃の花が咲き始める
第八候 啓蟄 次候

玄鳥至 4/5～4/9頃
つばめきたる
燕(玄鳥)が南から飛来する
第十三候 清明 初候

◆ 小田原市ふるさとの森づくり運動

日 3月12日(土) 9:00～12:00、晴れ

場 小田原市いこいの森

参 子供34名 大人38名

スタッフ 小田原市農政課 小泉様 他12名

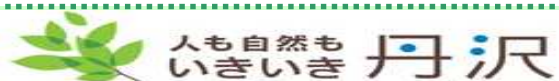
小田原市森林組合 村山様 他1名

イ L小沢⑨、齋藤⑥、小野⑦、村井⑨、
谷川⑩、上宮田⑩、松永⑩、小貝⑭

久野小、足柄小、芦子小、三の丸小、一般申込み、及び市議会・実行委員会から参加。参加グループ毎に引率市職員・集合場所・バス配車・森林インストラクター・植栽ゾーンが予め設定された。バス5台は市職員と森林インストラクターが添乗し、参加者はいこいの森に到着。

9:50から開会式、続いて参加者は4ゾーンに分かれて広葉樹植栽と森林散策を行った。苗木(コナラ・クヌギ・ヒメシャラ・イロハモミジ・コハウチワカエデ・ヤマボウシ・ゴテンバザクラ)160本を補植。補植のため作業場所も広く、また急斜面の箇所も多く、かつ作業時間が短い中で、参加者への声掛けを心がけた。子供たちは慣れない鋤を使って楽しく穴を掘る。「木は水が必要だから根の周りの土をよく踏んでね。」と話すときよく土を踏んでくれました。森林散策では、川の源流を見たり、人工林内と落葉樹林内の明るさの違いに驚き、またクヌギに空けられたキツツキの穴を見つけて感動していました。「いいところだね。また来ようね。」と話す父親の言葉に子供の満面の笑顔。怪我もなく、最後はバス内の参加者と見送る森林インストラクターとが互いに手を振る光景があちこちで。

(記 小貝 眞 ⑭)



丹沢の自然再生に取り組む 丹沢大山自然再生委員会のホームページをご覧ください。<http://www.tanzawasaisei.jp/>

◆ 株式会社日立システムズ

やどりき水源林植栽ファミリ50 植樹前の落ち葉掻き

日 3月26日(土) 10:30～13:00、曇りと時々小雨

場 やどりき水源林

参 日立システムズ社員及び家族 12名

(大人男性8名女性3名子供1名)

イ L小沢⑨、辻村⑨

4月下旬に行われる植栽前の落ち葉掻きをヤマビル対策として実施しました。肌寒く雨も落ちてくるような状況でありましたが、落ち葉を集める・運ぶ・埋める穴を掘る作業で身体は温まり作業が終わるころには日の光も見えはじめ植栽予定地は見違えるほど綺麗になりヤマビルも出るに遠慮するような状態になりまして参加者の皆さんは満足顔でした。

集会棟付近での昼食後解散し、ミニ案内に参加する人・帰路に就く人を見送りました。

(記 辻村 寿 ⑨)

ニュースレター「しずくちゃん便り」

ホームページは下記URLで見ることができます。

かながわの水環境の
保全・再生をめざして

<http://www.pref.kanagawa.jp/cnt/f7006/p23426.html>

◆ キリンビール株式会社 横浜工場

水源の森活動 (間伐&コースター作り)

日 4月9日(土)、晴れ

場 やどりき水源林キリン・パートナー林

参 大人72名

県 武田様 星様

イ 西出⑫、小野⑦、有坂⑧、齋藤⑧、鈴木⑧
小沢⑨、大澤⑩、澤村⑫、木村⑭、立花⑭

初夏を感じさせる少し汗ばむ陽気です、麒麟のチャーターバスが渋滞のため30分遅れてスタートになりました。集会棟前で開会式の後9班に分かれ11時頃から間伐作業を開始する、麒麟ビール様では年に2回の間伐体験活動をしているので経験者が多く手際よく作業が進んでいた。時間も少なかったため前もって選木されたヒノキ・

スギを各一本、伐倒した。一部では、掛かり木状態になった班もあったが、順調に間伐を終え、順次下山した、倉庫前で用具の手入れを行った後、集会棟前の広場に「馬」を出して搬出したヒノキ材で全員がコースター作りを行ったが皆がとても楽しそうで大好評に終わった、ヒヤリハットはなかったが、一名の方がヤマビル被害に遭い応急処置を施した、これから暖かくなりヤマビルが多くなることが懸念される。しかし全員怪我なく時間どおりに終了する事ができました。

(記 木村 勇 ⑭)

森のめぐみの掲載は、
今月号はありません。
次掲載は6月号です。

森のめぐみ シリーズ

投稿概略フォーマットと略語の説明

ページレイアウトは気にされずベタ書きで結構です。

◆ 活動団体・活動名 等

- 日付 (できれば時間と天気も)
 場所
 参加者&人数
 神奈川県 環境農政局 水・緑部
 水源環境保全課 水源の森林推進グループ
 ((公財)かながわトラストみどり財団)、 看護師
 例 小田原市森林組合XX様
 例 川崎市公園緑地協会・XX様
 インストラクター (○数字:期) 研修枠
 (以下本文を概ね400字を目安として執筆ください)
 リーダーは責任を持って執筆者の選択をお願いします。
 活動終了後の速やかな投稿をお願いいたします。

森林探訪

【共催】NPO法人かながわ森林インストラクターの会

【森林探訪申込先】 往復ハガキにイベント名・参加者全員の氏名・住所・電話番号・年齢を記入し、〒252-0332 相模原市南区西大沼1-25-4 内野 ミドリまで(☎042-758-5058)

かながわ森林インストラクターの会 自然観察部会

5月28日(土) 風薫るハマの丘陵地を散策

9時～15時

【講師】NPO法人かながわ
森林インストラクターの会

会員 500円

一般 1,000円

【集合】京浜急行線
金沢文庫駅



【コース】金沢文庫駅～六国峠ハイキングコース～
金沢自然公園～横浜自然観察の森

80人(先着順)
受付:4/1～5/21

11月20日(日) ヤビツ峠周辺の登山道を歩こう

8時～15時30分

【講師】NPO法人かながわ
森林インストラクターの会

会員 500円

一般 1,000円

【集合】小田急線 秦野駅



【コース】秦野駅バス停⇒ヤビツ峠～岳ノ台～菩提
峠～ヤビツ峠～蓑毛

80人(先着順)
受付:10/1～11/13

〈横浜キネマ倶楽部 第43回上映会〉2015年/日本/カラー/66分/ブルーレイ上映
ドキュメンタリー映画
熊と蜂蜜とアキオさん

熊を撃つことが目的ではない
ただ、自然の一部になること

春よこい

横浜初上映!!

福島県奥会津の金山町
自然と共に生きる
新マタギ物語

映画上映前に安孫子監督
のメッセージビデオを上映

森が教えた、
森が死んでいく、
地球温暖化、
原発事故、
消費社会、

監督: 安孫子亘

6月18日(土) 鶴見公会堂 (西友6階) (席数500席)
【上映各回30分前より開場】 (注意) いつもと会場が異なります 電話045-583-1353
①11:00 ②13:00 ③14:40 [交流会] 12:30
後援: 横浜市教育委員会

【入場料】前売: 1,000円 ※ 当日: 1,300円 障がい者: 1,000円 助者1名無料
※前売料金(1000円)を6月16日(木)迄に下記の口座へご入金いただければ、チケットを当日受付にてお渡しいたします。
ゆうちょ銀行総合口座 記号 10200 番号 22932931 加入者名: ヨコハマキネマクラブ
【主催・問合せ】 電話080-8118-8502 (10時~18時) 横浜キネマ倶楽部
【プレイガイド】 有隣堂伊勢佐木町本店 電話045-261-1231 / 高橋書店(元町) 電話045-664-7371
いづみ書房 電話045-241-1104 / シネマジャック&ベティ(黄金町) 電話045-243-9800
横浜シネマリン 電話045-341-3180 / チケットぴあ ちけっとぽーと横浜店(ポルタ) 電話03-5561-7714
【チケットぴあ】(Pコード: 555-329) 「セブンイレブン」「サークル K・サンクス」でチケットの発券ができます

©2015 春よこい 製作委員会

(JR 京浜東北線「鶴見駅」西口下車徒歩1分 / 京浜急行線「京急鶴見駅」下車徒歩5分)

みどりの感謝祭
MIDORINOKANSHASAI

みどりの恵みと木のぬくもりを
「見て」「触れて」「食べて」感じる憩いの広場

**みどりとふれあう
フェスティバル**

入場無料

2016
5.14 11:00~18:00 → 5.15 10:00~17:00

会場: 東京都立 日比谷公園 にれのき広場等 ※雨天決行、荒天中止

第26回森と花の祭典—「みどりの感謝祭」式典併催行事
「みどりとふれあうフェスティバル」開催のご案内 【URL】 <http://midorinokanshasai.com/>

5月14日、15日に日比谷公園で第26回森と花の祭典—「みどりの感謝祭」式典併催行事「みどりとふれあうフェスティバル」開催されます。

みどりとふれあうフェスティバルは、普段あまり緑に触れる機会が少ない都市で生活する方々、特に子育てをされているような若いご家族の方々などを対象に、子供から大人まで幅広い世代がみどりとふれあい、見て、食べてみることで、みどりや木の魅力を体感していただけるようなイベントとなっています。

ぜひご来場いただき、みどりとふれあう週末にいただければと思います。ご来場お待ちしております。

◆開催概要

【日 程】2016年5月14日(土) 11:00~18:00、2016年5月15日(日) 10:00~17:00

【会 場】東京都立日比谷公園(噴水前広場、にれの木広場等) 入場無料

【主 催】農林水産省・林野庁、東京都、(公社)国土緑化推進機構、(一財)日本緑化センター、(一財)日本森林林業振興会、東京緑化推進委員会

【出展規模】100社・団体/120小間[見込み] (企業20、林業団体・地方公共団体等30、NPO・学校等50)

【アクセス】○電車 地下鉄丸ノ内線・千代田線「霞ヶ関」(M15・C08出口)

地下鉄日比谷線「日比谷」(H07出口) 下車 徒歩2分 JR「有楽町」下車 徒歩8分

やどりき水源林 ミニガイド

4月のトピックス

種々の花や新芽が芽吹き始めました。
(アブラチャン)



(4/8 水口)

5月の水源林

山が川が！！
ウツギ(空木)をはじめ草花、樹木、動物、鳥が、そして水棲生物が！！
最高のシーズン到来です。
是非、おいでください。

「森の案内人」情報

- 実施時間: 毎週土曜・日曜・AM10時・PM1時, 1~2時間程度
- 集合: 水源林入口ゲート前
- 内容: 森林インストラクターが自然観察にご案内します。森林のしくみ手入れなどについて説明致します。参加自由、参加費無料
- *10人以上の団体は事前に下記までご連絡ください。
- 問合せ: (公財)かながわトラス みどり財団 TEL: 045-412-2255 FAX: 045-412-2300
- ホームページ: <http://www.ktm.or.jp>
- E-mail: midori@ktm.or.jp
- やどりき水源林までの道順
小田急線新松田駅または JR 御殿場線松田駅下車、富士急湘南バス「寄(やどりき)」行き乗車約 25 分。バス下車後(案内板あり)川沿いに徒歩 35~40 分。
寄大橋の右横が水源林ゲートです。

イベント情報 & ご案内

◇ 森のなかま原稿募集 ◇

会員・読者の皆様から広く原稿を募集しています。

<広報全般についてのお問い合わせ>

松本 保

Mail: matsutamori@jcom.zaq.ne.jp

Tel: 090-7962-3168

<電子配信担当> 赤崎 さほり

Mail: s_akasaki-k_instructor@live.jp

Tel: 090-6150-6173

<メール・手書き原稿送り先>

【本誌】松本 保

〒246-0037 横浜市瀬谷区橋戸 3-46-17

Fax: 045-301-9401

電話連絡先: 090-7962-3168

Mail: matsutamori@jcom.zaq.ne.jp

【別冊】水口 俊則

〒250-0871 小田原市下堀 123

Tel/Fax: 0465-42-7240

Mail: minagold109@kj.biglobe.ne.jp

【別冊はCCを】福島 正治 (事務局長)

〒214-0006

川崎市多摩区菅仙谷 3-1-1-204

Tel/Fax: 044-944-9423

Mail: fukky52000@yahoo.co.jp

原稿は随時受付けています。

森のなかまは過去号もご覧になれます。
(ホームページ) <http://www.forest-kanagawa.jp/3kiroku.html#kiroku01>
(HP 担当: 井出恒夫)

編集後記

★暖かくなり、最近は散歩によく行っています。ハナズオウに藤の花、つい立ち止まって見とれていたら、目標コースが歩くのに、倍の時間かかってしまいました。
次からはもっと歩こう！

(大塚)

★今、春はまさに里山を訪れています。そこを歩くのは至福の喜びです。
目に青葉、腹に山菜…(・_・)

(赤崎)

★青葉若葉の美しい季節になりました。
美しい自然を見るごとに、熊本での震災を思う時、素直に喜べない自分います。言葉が見つかりませんが少しでも共有できたら・・・と思います。

(小川)

★横浜市から災害に備えて1人9L備蓄要請がありました。
南関東は震度5以上の地震発生が極めて高いとなっており、3日分の備蓄を心がけています。

(蘭田)

★地震のため、水口さんが急遽、会社現地支援のため熊本にいました。別冊も松本が編集することになり、やや本誌の内容の緻密さがなくなっています。ご容赦ください。水口さん・・・熊本で頑張ってください！
一昨年の長野北部地震で

壊れた実家を取り潰しています。
ああ故郷がなくなる！！
4/11にその実家からの帰りに撮ったまもなく村の中心人物(猿)になる人(猿)です。



(松本)

◇ 年間通読のお申し込み

「森のなかま」年間通読をご希望の方は、郵便局備付けの郵便振替を利用してお申し込み下さい。

郵便振替口座 00230-0-2454

かながわ森林インストラクターの会宛までご寄附2000円をお振込み下さい。振替用紙には、必ず、住所、氏名を明記して下さい。

振替用紙到着の翌月号から12回/1年間お届け致します。

編集人: 松本 保
事務局: 福島 正治
広報部: 水口俊則 赤崎さほり
小川和恵 蘭田栄哉
大塚晴子 小池 哉
支援 伊藤恭造 大原正志
江頭淑子

要 申 込

『やどりきの森へ行こう！』

新松田駅北口8:30集合。イベント当日は、水源林ゲート前までバスを利用！
(バス代各自負担: 片道620円) ☆所要時間目安

5月21日(土)
【夏も近い！ウツギ&動物探し】

水源林では、4月から11種類のウツギが次々と花を咲かせます。この日は何種類のウツギの花に逢えるでしょうか。運がよければカモシカに逢えるかも!!

☆3時間 申込締切...5月5日(木) 定員50名(抽選)

【内容についての問い合わせ先】

かながわトラスみどり財団 (左ページ参照)

【「やどりきの森へいこう」の申込先】

NPO法人 かながわ森林インストラクターの会

〒243-0018 厚木市中町2丁目13番14号

サンシャインビル604

E-mail k-inst0981@friend.ocn.ne.jp

希望するイベント日時、参加者全員の氏名、住所、電話番号を記入の上、往復ハガキ、又はE-mailにてお申し込みください。

締切後、抽選結果ならびに詳細をお送りいたします。